



きらめけ! 有年っ子

赤穂市立有年小学校
赤穂市西有年2853番地
TEL 0791-49-2081
発行者 西村 博子

親子で!きょうだいで!友だちと! スポーツ参観日でガッツポーズ!

7月5日(金)に、初めての試みである「スポーツ参観日」を実施しました。スポーツクラブうね21の平尾さんのご協力のもと、さまざまな種目のスポーツに挑戦しました。「囲碁ボール」や「クロリティ」など、初めて名前を聞いて挑戦するものもあれば、「豆つかみ」や「ペットボトルキャップ積み」など、集中力を試されるものもあり、子ども達は休む暇なく、各ブースを回っていました。

「やったー!」「すごい!」「なんで~?」と大人も子どもも声が出てしまう楽しい時間でした。これを機会に、いろいろな運動に楽しく親しめるようになるとうれしいです。

※暑さ対策のため、安全に配慮して各教室で実施しました。



【囲碁ボール】



【デスゲッター】



【豆つかみ】



【ペットボトルキャップ積み】



【オセロでDO!】



【クロリティ】

たのしかったよ!水遊び(幼小連携活動)

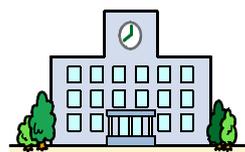
7月12日(金)に、1年生が有年幼稚園に出かけ、幼稚園のお友だちと一緒に水遊びを楽しみました。

この日に向けて、1年生は、的を作って試したり、倒しやすく水をとばす方法などを考えたりと、どうやったら幼稚園のみんなが楽しめるかを考えて準備を進めました。当日は、遊び方の説明も上手にでき、お兄さん、お姉さんになって、やさしくお世話もでき、1年生の成長を実感しました。

これからも、たのしい連携を進めていきます。



「地域とともにある学校」として①



みなさんは、「学校統廃合」という言葉を耳にしたことはありますか？
昨今の少子化、人口減少という社会情勢と合わせて、今後の学校の在り方を考える際によく使われる言葉です。しかし、学校統廃合に関して、間違った認識があることも懸念されています。

コミュニティ・スクール7年目を迎えた本校も「地域とともにある学校」として、保護者・地域のみなさまとともにこれからの有年小学校について考えていきたいと思っております。学校便りでもこの話題について随時取り上げていきたいと思っております。

Q：よく言われる「学校統廃合」とは何ですか？

A：正確には、「学校の適正規模・適正配置」の取組をさします。全校児童の少ない複数の小規模校を統合することが目的ではなく、市として、適正な学校配置を再構築していくことをめざす取組です。統廃合は適正化のための手段の一つではありません。

Q：学校統廃合は、行政主導で行うものですか？

A：いいえ、そうではありません。
学校運営協議会や学校適正化検討委員会、自治会、地域まちづくり等の意見をもとに行うものです。これまで同様に、「地域のあかり」として、有年小学校を見守っていただけるとうれしいです。

Q：学校数が減れば、市の財政も改善されるのでは？

A：学校数が減ると、国からの地方公金が大幅に削減されるので、市財政の負担は大きくなります。遠方の学校に通わなければならなくなった場合、登下校に必要なバス費用は、年間で1台2,000万円程度かかるとも言われています。

Q：バスで登校できるなら登下校が楽になるのでは？

A：バスで通うとなると、乗降場所まで歩いて行き、帰りはそこから自宅までまた歩かなければなりません。（各自宅の前までバスが迎えに来ることはありません）
よって、登下校にかかる時間が長くなるため、これまでより「早く家を出て」、「遅く家に帰る」ことが大いに予想されます。

Q：小規模校は「社会性が育ちにくい」など、デメリットが多いのでは？

A：実は、小規模校はデメリットよりもメリットのほうが格段に大きいのです。
世界の教育先進国の多くは、小規模・複式学級です。それは、小規模の特性に応じた特色ある教育活動の実施が可能だからです。小規模校のデメリットといわれる「主体性」「社会性」「協調性」「意欲」「自己肯定感」「競争心」「自立心」などは、小規模校の方が育まれやすいと言われます。
小規模校での細やかな指導や工夫ある教育活動によって、これからの教育がめざす「学ぶ力」「生きる力」の育成にもつながります。

これまで、学校運営協議会では協議を重ねてきていることですが、2学期はじめをめぐり、保護者のみなさまにもきちんとご説明したいと考えております。説明会の日時が決まりましたら、改めてお知らせいたします。よろしく願いいたします。

☆有年小学校ホームページでは、カラーの学校便りもご覧いただけます。
右のQRコードからご覧いただけます。
その他、行事予定や学校の取組等も掲載していますので、ぜひ、ご覧ください。

